

## 編集後記

今回も、本研究院院生の研究の成果がこのように「法政論集第十三巻」という形で世に問うことができるようになりました。これは院生の研究過程を知る編集委員はじめ大学院担当教員一同にとっても大変大きな喜びです。

掲載論文は、執筆者にとっておそらく最初の活字論文であり、良かれ悪しかれ執筆者の分身でもあります。したがって、問題意識、分析手法あるいは展開方法において、この処女論文が執筆者の将来を規定するという側面もあるように思われます。

その意味で、読者の皆さんにはこれらの意欲溢れる論文を温かく見守っていただくとともに、これらの研究成果に対しご叱正やご指導を賜り、執筆者に更なる発展の契機を与えていただければ幸いです。

出版・校正にあたり、編集委員及び大学院担当職員に大変お世話になりました。記して謝意を申し上げます次第です。

(通山／記)

## 編集委員会(教員)

○通山 昭治      古屋 邦彦

渡辺 守雄

(○印委員長)